

平成27年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成27年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	たまやま振興 株式会社	所管課	玉山総合事務所産業振興課
所在地	〒 028 - 4134 盛岡市玉山区下田字生出893番地11		
電話番号	(019) 683 - 3215	設立年月日	平成9年9月5日
代表者	工藤 久徳 <input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 市OB	<input type="checkbox"/> 市現職 <input type="checkbox"/> その他
設立目的	農村資源を活用した都市との交流を推進し、地域活性化を図るとともに市民の保健及び保養と交流の場を提供する。		
主要事業	① 宿泊事業 ② クアハウス事業 ③ 郷土食販売事業 ④ 産直売店事業 他		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス http:// yutoland.web.fc2.com/)
	<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input checked="" type="checkbox"/> その他(施設案内・宿泊プラン・食事内容他)
ホームページ以外での情報提供の方法	盛岡市のホームページで出資法人の経営状況調査の結果を公表。同市情報公開室で決算関係書類閲覧可

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役	0	0	0	8	8	
	監査役	0	0	0	2	2	
	計	0	0	0	10	10	
職員	管理職	正職員	1	0	0	0	1
		臨時職員	0	—	—		
	一般職	正職員	5	0	0	0	25
		臨時職員	20	—	—		
	計	正職員	6	0	0	0	26
		臨時職員	20	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増	0	減	2	常勤職員の平均年齢	53 歳
常勤職員の給与体系		<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input type="checkbox"/> その他()					

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	55,000 千円	本市出資等額	47,500 千円	本市出資等割合	86.3 %
主な出資等者					/
① 盛岡市		(出資等割合	86.3	%)	
② 新岩手農業協同組合		(出資等割合	9.1	%)	
③ 岩手中央酪農業協同組合		(出資等割合	3.6	%)	
④ 盛岡商工会議所		(出資等割合	0.9	%)	
⑤		(出資等割合		%)	
平成27年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円	(収入全体の		%)
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の		%)
	委託料	0 千円	(収入全体の		%)
	指定管理料	0 千円	(収入全体の		%)
	貸付金	0 千円	(収入全体の		%)
補助金内訳					
①		(平成27年度予算額			千円)
②		(平成27年度予算額			千円)
③		(平成27年度予算額			千円)
負担金・交付金内訳					
①		(平成27年度予算額			千円)
②		(平成27年度予算額			千円)
委託料内訳					
①		(平成27年度予算額			千円)
②		(平成27年度予算額			千円)
指定管理料内訳					
①		(平成27年度予算額			千円)
②		(平成27年度予算額			千円)
③		(平成27年度予算額			千円)
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		盛岡市総合交流ターミナル施設(ユートランド姫神)			
		利用料金収入(平成27年度予算額)	114,250		千円
		法人の収入全体の	99.96		%

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名 称	盛岡市総合交流ターミナル施設 ユートランド姫神
--------	-------------------------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成24年度	平成25年度	平成26年度
①売上目標	千円	計画	123,000	119,800	111,200
		実績	113,210	111,947	109,620
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。
 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
収支の状況	売上高(A)	113,234	111,966	109,642
	売上総利益	88,266	85,784	87,489
	販売費・一般管理費(B)	96,225	99,842	105,661
	営業利益	▲ 7,959	▲ 14,058	▲ 18,171
	経常利益(C)	▲ 4,466	▲ 5,088	▲ 17,386
	税引前当期純利益	▲ 4,766	▲ 5,302	▲ 17,386
	当期純利益	▲ 4,951	▲ 5,487	▲ 17,571
財産の状況	資産(D)	53,345	51,381	33,470
	うち流動資産(E)	53,033	49,629	32,083
	うち固定資産	312	1,752	1,387
	負債	9,264	12,787	12,448
	うち流動負債(F)	9,264	12,787	12,448
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債			
	うち長期借入金(I)			
	うち有利子負債(J)			
	純資産	44,082	38,595	21,023
うち資本金(K)	55,000	55,000	55,000	
うち剰余金(L)	▲ 10,918	▲ 16,405	▲ 33,977	

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
組織の状況	常勤役員数(M)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	27	28	26
	うち常勤職員数	6	5	6
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(M/総役員数)			
	管理職員比率	3.7	3.6	3.8
職員新規採用数	0	0		
うち常勤職員数	0	0		
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	▲ 3.9	▲ 4.5	▲ 15.8
	販売費・一般管理費比率(B/A)	84.9	89.1	96.3
	流動比率(E/F)	572.4	388.1	257.7
	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	82.6	75.1	62.8
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	4,193	3,998	4,217
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	①			
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額	0	0	0
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	3,156	7,964	0
	① 燃料費変動に伴う指定管理料	3,156	7,964	0
	②			
	③			
貸付金額				
損失補償額				
債務保証額				

平成26年度決算の概要

・売上高・・・リーズナブルな料金設定により、ビジネス客増となった宿泊部門は、昨対約2,000千円増の売上高となったが、クアハウス・郷土食コーナー・産直売店は、設備点検及び工事や人手不足の為の休館日増加も影響し、各部門で売上高減少となった。全体としては、昨対 約4,000千円減の109,642千円となった。

・売上原価・・・料理の原価率を抑えたことにより、材料仕入高が昨対 約4,100千円減少し、22,153千円となった。

・販売費及び一般管理費・・・施設の老朽化により、修繕費・施設管理費が増加し、昨対 約5,800千円増の105,661千円となった。

以上により、営業損失 18,171千円となった。今年度は、燃料費変動に伴う指定管理料もなかったことから営業外収入を入れ、経常損失で 17,386千円、法人税・住民税を差し引き当期純損失17,571千円の決算となった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

C	A：良好， B：概ね良好， C：改善を要する， D：大いに改善を要する
<p>(コメント)</p> <p>本施設維持管理は、完全利用料金制により行われており、リスク分担を除き指定管理料は導入されていない。</p> <p>しかし、開設以来リニューアルが行われておらず、競争も激化しており、利用者数が開設時と比較し相当程度減少していること、施設設備の修繕機会も多くなってきているほか、光熱水費等の経費が嵩んできていること等から、指定管理者の負担が増加し収支が赤字となり、手元資金を取り崩して補填している状況を反映した財務状況となっている。</p> <p>特に施設設備の修繕については、予め判明していた大規模修繕には市が対応してきたが、年度途中に発生した小破修繕以外の修繕に対しサービス維持の観点から指定管理者がやむを得ず対応したケースが相当あったほか、小破修繕といえども回数が相当多くなっているところである。</p> <p>一方で、一部の部門（宿泊部門）では、前年度より利用者が多くなった例もあり、利用者数の改善見込みは十分にあるものと考えている。</p> <p>今後の改善策として、短期的には、市においては、28年度に施設設備の修繕費を確保し指定管理者の負担を軽減するとともに、クアハウスの料金改定（28年度に予定）により収入増を見込むほか、29年度にはクアハウスのリニューアルも計画している。これらの対策の実施と指定管理者に一層の営業努力による収入増及び諸経費の支出の適正化を促すことで、3年以内での単年度黒字達成が可能であると判断したものである。</p> <p>また、施設の安定的な経営の確保のためには、中長期的な経営の見通しが必要であり、これに伴う相応の経費について、適切な指定管理料の導入を含め、検討を進める必要がある。</p>	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成25年度決算において黒字である。		○
2	平成26年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。	○	
4	平成26年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。	/	
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。	○	
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。	/	